



伊勢崎市安堀町にある市指定史跡お富士山古墳は、5世紀前半に造られた直径125mの市内最大の前方後円墳です。この墳丘上に保存される県指定重要文化財の長持形石棺は、畿内の大王級の古墳に採用された石棺と同じであることから「王者の石棺」と呼ばれ、ヤマト王権との関係が推察されます。この展示では、お富士山古墳に所在する長持形石棺のレプリカの展示とともに、お富士山古墳についてパネル展示します。

お富士山古墳の測量図

11月15日(金)

12月27日(金)

会場：資料館1階ホール

長持形石棺(ながもちがたせっかん)

大王級の古墳に採用された、6枚の石を組み合わせた石棺です。全国で40例程が確認され、東日本では伊勢崎市お富士山古墳と、東日本最大の前方後円墳である太田市太田天神山古墳の2例です。その内、実物資料とレプリカが見学できるのは、東日本でお富士山古墳だけです。資料館で長持形石棺を見学したあとは、現地の古墳も行ってみよう。

王者の石棺

ホール特別展示

県指定重要文化財お富士山古墳所在長持形石棺

長持形石棺データ

全長：285cm

幅：121cm

高さ：115cm

重さ：約6.8t

材質：砂岩

※写真の長持形石棺は実物

お問い合わせ

伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

入館無料

群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98

電話 0270-63-0030

FAX0270-63-0087

休館日：月曜日(月曜日が祝日は翌日)・年末年始・臨時休館日 開館時間：午前9時～午後5時(入館は4時30分)